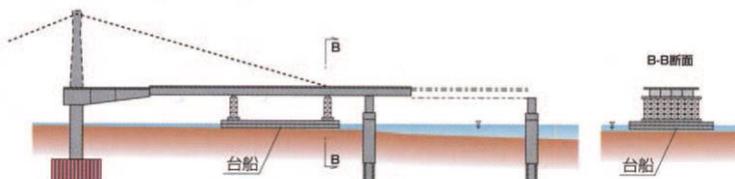


## 個票 4 淡水流入域の変更の防止 [海 1(1)⑤4-1]

(2010年作成)

配慮の視点	生態系の多様性への配慮	配慮項目	生き物の生息・生育空間となる多様な自然とそのつながりの保全・創出
配慮事項	海域の保全と生物の生息場の創出		
配慮事例	淡水流入域の変更の防止		
内容	<p>●<b>淡水流入域の変更の防止</b></p> <p>【解説】</p> <p>汽水域は、海と陸の接点に位置し、淡水と海水が混合し、潮汐や波浪などの影響を受け、常に変動する特殊な環境です。このため、海域に生息する生物や汽水域に生息する生物に加え、汽水性の生物が生息・生育する多様な生物環境を形成しています。また、地形の変化など人為的な攪乱を受けると淡水と海水の影響のバランスが容易に崩れ、環境への影響を受けやすいといった変化しやすい環境でもあります。このため、できるかぎり淡水流入域の変更を行わないことが望ましい。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>① 汽水域の人為的改変には、河道の掘削、河口導流堤の建設、河口部の埋め立て、河口域での海砂採取、橋梁の建設、河口堰の建設などがあります。</p> <p>② これら改変を伴う事業を行う場合、極力影響を小さくする配慮を検討します。</p> <p>【事例】</p>  <p>出典:2</p>		
	留意点	<p>【場所】 徳島県徳島市 吉野川河口 東環状大橋（仮称）</p> <p>【環境配慮の内容と方法、工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 架橋位置付近に吉野川河口干潟等の貴重な自然環境があることから干潟及び周辺環境の保全に配慮した。</li> <li>・ 設計段階において、干潟への負荷を少なくするため干潟に橋脚を設置しない構造形式とし、干潟部の橋梁は長大支間を採用した。</li> <li>・ 施工段階での影響をできるだけ少なくするため、台船施工方式による施工を実施し、施工時期の配慮を行った。</li> </ul>	
参考資料	<p>1 「汽水域の河川環境の捉え方に関する手引書」汽水域の河川環境の捉え方に関する検討会</p> <p>2 「徳島県公共事業環境配慮指針ガイドブック」徳島県</p>		